行財政改革通信

将来世代へ課題を先送りしないために、行財政改革がスタートしました

今年度の審議会では”基本方針”・”アクションプラン”について諮問しています

最終目標（KGI）

経常収支比率

85%

自由に使える財源を確保するための目標

70~80%が適正値
R6末時点：90.5%

- 比率が100に近づくほど財政が硬直化する

計算式

経常収支比率＝

$$\frac{\text{経常的に支出する経費}}{\text{経常的に収入する一般財源}} \times 100$$

- 70～80%が適正値

実質公債費比率

14%

将来世代への借金負担を抑えるための目標
18%から自由な借入ができなくなる
R6末時点：8.0%

計算式

実質公債費比率＝

$$\frac{\text{公債費（借金返済額など）}}{\text{標準財政規模（自由に使える収入の目安）}} \times 100$$

- 現状はまだ健全な値ではあるものの、R11には13.5%近くに達する見込み

基金残高

20億円以上

災害や将来投資に備える貯金の目標
※財政調整基金と減債基金の合計額
R6末時点：約２７億円

- 毎年度の予算の不足を基金で補う状況が続くと、財政運営の余力が失われる

■ アクションプラン重点取組10項目

1. 中長期財政マネジメントの確立
2. 事務事業の総点検と構造改革
3. 補助金・負担金の適正化と重点化
4. 公債管理の適正化と将来負担の抑制
5. 自主財源の確保と財源多様化
6. 受益者負担の適正化と説明責任の徹底
7. 効率的な組織体制と人材マネジメントの確立
8. 根拠に基づく政策形成の推進（EBPM）
9. DXの推進による業務効率化と住民サービス向上
10. 公共施設マネジメントの推進

審議会と並行して、役場内部でも行革を進めています

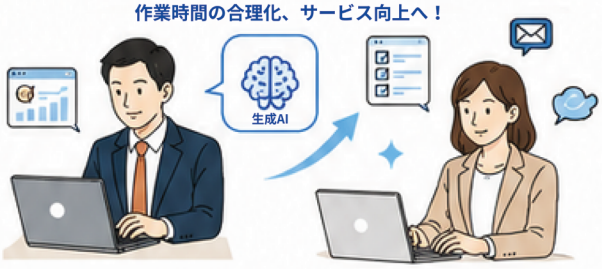
事務事業の総点検

ムダ・重複・過剰を見直し
必要な行政サービスに投資！



DXによる業務効率化

生成AIやデジタルツールを活用し
作業時間の合理化、サービス向上へ！



昨年度予算策定時に棚卸しをした事業もありますが、審議会での住民意見を参考にしたうえで

令和9年度予算に行革の成果を本格的に反映します

今後の予定

第2回審議会では、基本方針や最終目標（KGI）アクションプランの内容について、議論を深めます

次回
7月29日（水）
時間：19：00～
会場：役場3階会議室

傍聴可能！
※要事前申込

基本方針・アクションプラン、審議会の詳細情報については←HPをご確認ください。

企画財政課　財政係　☎62-9126